

2010年（平成22年）度第4回常務理事会記録

日時 2010年（平成22年）6月19日（土） 13:00～15:50

場所 東京大学大学院医学系研究科 教育研究棟2階第2 セミナー室

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊土（以上常務理事）、竹田 扇（常任幹事）、天野恵子、中村 聡、川村知子（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2010年（平成22年）度第3回常務理事会（平成22年3月27日開催）記録（案）

2010年（平成22年）度第2回理事会（平成22年3月27日開催）記録、同議事録（案）

2010年（平成22年）度総会（平成22年3月29日開催）記録、同議事録、同摘録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成22年3月分（入会者 正会員 6名、学生4名、賛助会員1社、退会者 正会員 20名、学生 1名、学術評議員 2名）

平成22年4月分（入会者 学生2名、退会者 正会員 5名、名誉会員 2名、学術評議員 1名）

平成22年5月分（入会者 正会員 5名、退会者 正会員 2名、学生 1名、永年会員 1名）

逝去会員：

内田 和子氏（帝京大学名誉教授/名誉会員）平成21年3月18日逝去（享年84歳）

布施 栄明氏（新潟大学名誉教授/名誉会員）平成21年7月31日（享年84歳）

葉山 杉夫氏（関西医科大学嘱託講師/永年会員）平成22年5月17日（享年77歳）

逝去会員追悼記事の執筆を故人と縁のある会員に依頼する事になった。

(2) 平成22年度支部学術集会の開催日程について

資料に基づき説明があった。

(3) 学会宛文書類について

通知・依頼：（独）科学技術振興機構より「J-STAGE大会演題登録システムの停止についてのご案内」他43件の通知・依頼あり。

書籍・定期通信等：（財）国際医学情報センターより「あいみつく 31(1) 2010」他18件あり。

(4) 名簿販売状況について

資料に基づき説明があった。この中で、代金未納の82件に関して住所確認の上督促を行なう事、また教室単位の分は理事長が直接督促を行う事を確認した。残部約450冊の処遇に関して意見交換があった。

(5) 文科省実地検査報告について

資料に基づき説明があった。特に月ごとの会計伝票と元帳の照合を毎月行う様指導があった件が取り上げられ、牛木理事が対応する事となった。

(6) 一般社団法人への移行申請について

移行申請に関する概要説明と意見交換がなされた。また、申請に関わる税理士、司法書士の費用約40万円を予備費から支払う事、代議員資格の内容を事務局が再確認の上整理する事、法人事務局の住所変更登記を行なう事、をそれぞれ確認した。

(7) 人体の不思議展について

理事長宛に送付された富永智津子氏からの要望書（資料9）に関して、意見交換が行なわれた。

倫理委員会で学会員を対象としたガイドラインの叩き台を作成の上、引き続き検討していく事を確認した。

(8) 第87回日本生理学会大会シンポジウム「解剖学教育と研究の現状と問題点」について

発表者である内山理事長より先般の標記シンポジウムに関する報告があり、その報告書が既にHPに掲載されている事が確認された。

(9) その他

生科連に参加した内山理事長から、今後国際生物学オリンピック運営に本学会も参画する事、生科連会長として解剖学会からは廣川信隆氏を推薦する事、高等学校の生物学教科書の在り方が問われている事、等の報告があった。これをもとに意見交換が行なわれた。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

配布資料に基づき報告があった。

(2) 科研費採択結果について

不採択であった理由に関してその背景の説明があった。

(3) その他

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

- (1) 平成22年度年度奨励賞・解剖組織技術士功労賞候補者の募集について
資料に基づき、年齢の引き上げが行われた事、選考委員名を公表している事が説明された。
- (2) 平成22年度技術士資格試験について
資料に基づき鶴見大学で行われる事が説明された。また、試験の実施には鶴見大の協力が今後も必要であること、大阪市立大の協力も得られていることが確認された。
- (3) 第28回日本医学会総会について
慶応大の仲嶋一範氏が学術委員として参加しており、共同企画を考案中である旨が報告された。
- (4) 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会拡大プログラム委員会について
6月4日に医科歯科大・寺田純雄氏、慈恵会医大・加藤総夫氏を中心に公募シンポジウムの選考が行われた事、企画シンポジウムに関する討論がなされた事が報告された。また内山理事長よりランチオンセミナーと冠シンポジウムの適正なバランスをとる必要性が指摘された。
- (5) 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について
第116回大会の内山理事長より、当日配布資料に基づいて参加費に関する報告と提案があり、承認された。また、第116回大会の参加費は生理学会との合同大会であるため、高めに設定されている事が説明され、第117回大会以降の参加費が必ずしもこの額に拘束されるものではない事が確認された。懇親会、商業展示に関して説明と意見交換が行われた。
- (6) Anatomy and Cell Biology について
韓国で発刊されている標記の雑誌より解剖学会に対して編集委員としての参画が求められている事が報告された。同時に日本においても国策として国際的に通用する学術雑誌を育成する必要がある事が指摘された。
- (7) APICAについて
資料30と当日配布の追加資料に基づき、解剖学会としての対応が確認された。
- (8) その他
国際生物学オリンピックに関して、筑波大が中心となって合宿が行われる事が紹介された。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

- (1) 平成22年度中間決算書について
一般社団法人移行の際に必要な支出約40万円を予備費から行う事が報告された。[庶務報告（6）と関連]
- (2) 学会ホームページについて
業者広告を学会のホームページのバナー広告として行う案が提示され、広告料に関して意見交換がなされた。
- (3) その他

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について
新規入会者のリストが提示され、手続きに不備があった1件を除き全件が承認された。
2. 教授就任による申請学術評議員について
5件の申請があり、全件が承認された。また、教授就任後未だ申請を行っていない該当者への申請手続きの案内を行う事を決定した。また、藤本常務理事より上記の5名のうち今回教授に昇任した3名に関して『解剖学雑誌』への寄稿要請が提案され、承認された。
3. 2014（平成26）年度総会・全国学術集会担当校について
募集要項が提示され、承認された。
4. 利益相反委員会の設置の必要性について
岡部、藤本の両常務理事を中心にして設置を検討していくこととなった。内山理事長より当面は正規の委員会ではなくアドホックなものとして運営する方針が打ち出され、承認された。
5. 将来計画ワーキンググループ（WG）中間答申とホームページ（HP）掲載について
岡部常務理事より、答申の簡略版をHPに掲載の上、会員の意見を集約し今後の具体的方針を決めていく旨が提案され、承認された。また、若手研究者の減少に関しては具体的な数値を示した資料を作成の上、今後の対応を協議して行く事を決定した。資料作成は同WGに依頼する事とした。
6. (株)トーハン「Medical e-hon」について
藤本常務理事より、トーハンから『解剖学雑誌』をMedical e-honに掲載したい旨の依頼があった事が説明され、掲載に関して承認された。
7. 公印規則の一部改正について

資料に基づき実地検査の際に公印の印影を載せる様にとの指導があった事が、口腔保健協会の中村氏より説明され、これに関する内規改正が承認された。

8. 会計処理規則の一部改正について

「会計責任者が不在の時は、事務局長がその事務を代行する」という条文を新たに付け加える事に関して説明がなされ、承認された。

9. 旅費規程の制定について

事務局長が出張する際にも本規程を適用出来る様にした事、旅費規程の重複部分を改正した事、の2点が説明の上、承認された。また、「一律交通費」、「近郊交通費」に関する説明が行われ、別表1の一律、近郊などの交通費は全て実費という事で統一する事にした。更に、航空機使用は実費で支給される事が確認され、距離規程の「300km」という付則には「原則として」という接頭辞を付け、柔軟な対応を可能とする事が決定された。

10. その他

来年度の生理学との共催学会に関わる会計計画に就いて意見交換が行われた。基本的には両学会での経費を分割して予算書を作成する旨が確認された。

次回常務理事会の日程

平成22年9月11日(土) 13:00~15:00 東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟2階第2セミナー室